

環境経営レポート

株式会社 デリカナカムラ

2024 年度

(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



作成日： 2025年5月9日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業や製品（商品）の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応の試行・訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	10



株式会社デリカナカムラは1967年創業以来、食品製造業として歩んで参りました。

現在は大手コンビニエンスストア専用工場として弁当・おにぎり・寿司の米飯商品を365日供給しております。安心、安全で美味しい食品作りを常に目指し、お客様に望まれる価値ある食品の供給を通じて社会全体の発展に貢献致します。

又、お客様への感謝の気持ちを忘れる事なく一人一人に真心ある品でお応えし、お客様の笑顔と幸せを守り続けることを目指します。

エコアクション21への取組の継続と検証を実施し「環境経営レポート」を一年間の集大成として以下、取り組みをまとめましたので活動内容をご高覧の上、ご指導頂きました後、引き続き環境活動に活かして参る所存です。

環境経営方針

環境経営理念

株式会社デリカナカムラは食品製造を担う企業として「安心・安全・お客様への感謝」を企業理念とし、お客様に喜んでいただける商品作りを目指すと共に製品およびサービスに係わる環境影響を常に意識し地球温暖化や食糧資源、地下資源を大切に使い自社と社会の持続的な成長を実現する為、全社一丸となって環境経営に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、食品リサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 安心で安全な商品を効率よくタイムリーにお客様にお届けします。
6. 環境に配慮した商品の開発・製造に努めます。
7. 改善活動を推進すると共に人材育成に努めます。

制定日：2022年3月10日

改訂日：2024年7月9日

代表取締役社長 中村 和文

組織の概要

更新日：2025年5月7日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社デリカナカムラ
代表取締役社長 中村 和文
- (2) 所在地
本社工場 埼玉県加須市鴻荃3206番2 藤の台工業団地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務取締役 木田 正一 TEL：0480-73-7711
担当者 設備保全部長 小林 和義 TEL：同上
- (4) 事業内容
コンビニエンスストア向け弁当、おにぎり、寿司の製造
- (5) 事業の規模
本社工場
- | | | |
|-------|----------------------|-----------|
| 売上高 | 2,414 百万円 | (活動期間) |
| 従業員数 | 240 名 | (活動期間末日時) |
| 延べ床面積 | 3,465 m ² | (活動期間末日時) |
- (6) 事業年度(57期) 2024年10月1日～2025年9月30日
活動期間 2024年4月1日～2025年3月31日

認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社デリカナカムラ
対象事業所：本社工場

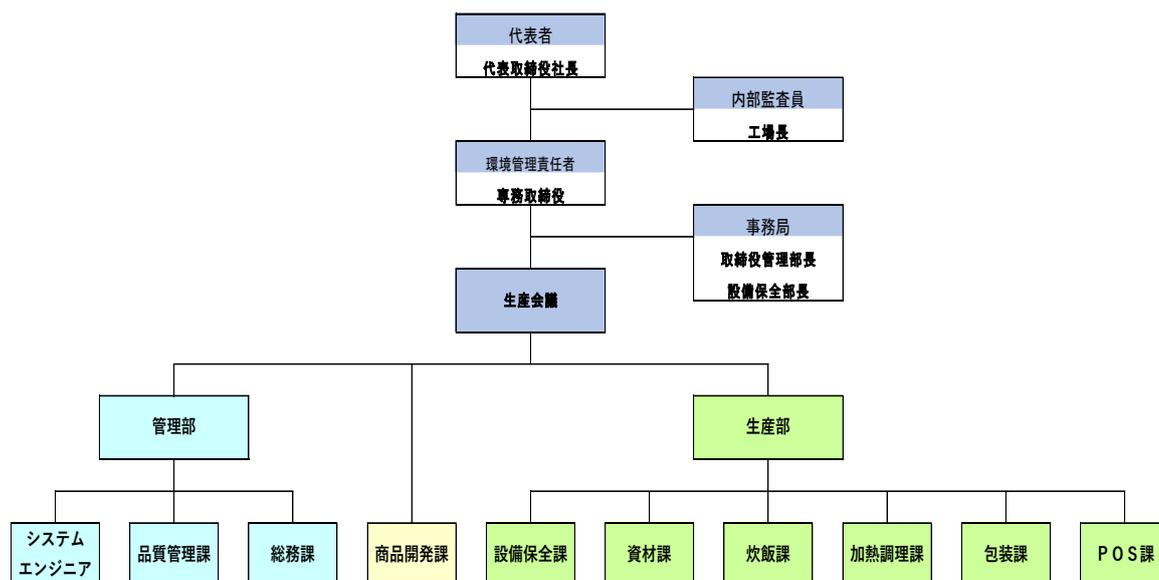
活動：コンビニエンスストア向け弁当、おにぎり、寿司の製造

事業や製品（商品）の紹介

当社は、コンビニエンスストア向けにお弁当・おにぎり・お寿司を提供する、「中食」事業を展開しています。
長年にわたる事業活動の中で、省エネルギーや廃棄量削減などに継続して取り組んでまいりましたが、当社の取り組みを改めて形にし、環境コミュニケーションの一貫として本レポートを作成いたしました。



環境経営組織及び役割・責任・権限



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理体制を構築し、責任者を任命すると共に全従業員への周知 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
生産会議	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,225,434	2,110,949	2,224,889
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	245,790	239,850	210,540
産業廃棄物排出量	t	187,494	192,149	34,920
食品廃棄物				
発生量	kg	264,480	238,630	220,420
発生抑制量		19,328	40,733	6,028
再生利用量		229,480	216,840	198,670
廃棄物処理量		35,000	21,790	21,750
食品再資源化実施率	%	88%	88%	90%
水使用量	m ³	62,281	67,787	65,211

※有価物を含む
(廃段ボール・廃油・一部の廃プラ)

※二酸化炭素排出係数 0.457 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数
R5年環境省ホームページ記載及び2023年二酸化炭素係数検索ページにて検索した数値です

カーボンニュートラルに向けた我が社の取り組み

単位:t-CO₂

	化石燃料	電力	対策
2019年度	22	66	
現在	21	60	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年度	15	29	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年度	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



環境経営目標及びその実績

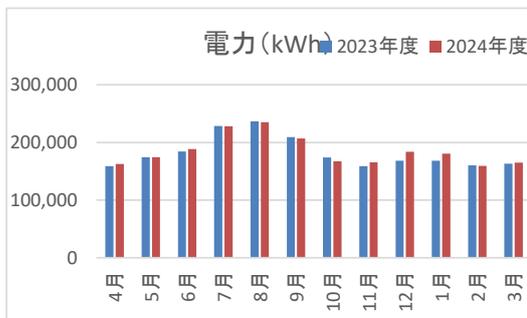
年度 項目		2023年度		2024年度		評価	2025年度	2026年度
		(基準値)	(実績)	上段：通期 中段：2023/4~2024/3			(目標)	(目標)
				(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素 売上高原単位	kWh	2,177,534	2,155,759	2,216,463	×	2,133,983	2,112,208	
	基準年度比		99%	102%		98%	97%	
	kWh/百万円	770.32	762.61	918.17	×	754.91	747.21	
	kg-CO ₂	995,133	985,182	1,052,820	×	975,230	965,279	
原単位	kg-CO ₂ /百万円	352.04	348.51	436.13	×	344.994	341.474	
	基準年度比		99%	106%		98%	97%	
LPGガスによる二酸化炭素削減 原単位	kg-CO ₂	595,817	589,859	647,724	×	583,901	577,943	
	kg-CO ₂ /百万円	210.77	208.67	268.32	×	206.559	204.451	
都市ガスによる二酸化炭素削減 原単位	kg-CO ₂	494,739	489,791	479,126	○	484,844	479,897	
	kg-CO ₂ /百万円	175.02	173.27	198.48	×	171.517	169.767	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,260	24,755	45,220	×	24,503	24,250	
	基準年度比		98%	179%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2,156,382	2,089,587	2,224,889		2,068,478	2,047,368	
一般廃棄物の削減	kg	239,850	235,053	210,540	○	235,053	232,655	
	基準年度比		98%	88%		98%	97%	
廃プラの削減	kg	3,530	3,177	1,610	○	2,824	2,471	
	基準年度比		90%	46%		80%	70%	
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標	95%	95%	90%	×	80%	80%	
	食り方目標	88%	88%	90%	○	90%	90%	
	基準発生原単位	kg/百万円	91.1	177.0	91.31	○		
水道水の削減	m ³	67,787	64,398	65,211	×	62,364	61,008	
	基準年度比		95%	96%	×	92%	90%	
原単位	m ³ /百万円	23.98	22.78	27.01	×	22.06	21.58	
化学物質の適正管理	行動目標 (次項による)							
環境に配慮した製品・サービスへの取組	行動目標 (次項による)							

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △まあまあできた ×できなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	照明のLED化、モーターのインバーター制御取組みは実施済。 エアコンの省エネ機への転換を随時進め電気使用量の削減を進めていきたい。 又、再度太陽光パネルの設置の検討も今後進めて行く。 今期前年比較が年間を通し粗×評価となっている事から無駄な電気を使用しない意識付けを更に強化し使用量の削減へ会社一丸となって進め来季挽回出来る様、取組みんで参りたい。
・空調温度の適正化（事務所等：冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・空調機の定期分解清掃3ヶ月1回実施	×	
・不要照明の消灯	△	
・仕事の効率化による定時退社の実施	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検3ヶ月1回実施	○	



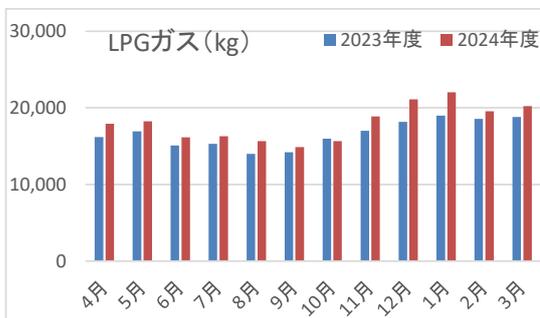
取組紹介欄

天井裏室に換気ファン取付け室温差解消、エアコンの効率向上による電気使用量の削減



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年度	159,108	174,252	184,434	228,746	236,539	209,090	173,899	158,736	168,489	168,489	160,354	163,176
2024年度	162,458	174,394	188,333	228,172	235,209	206,758	167,381	165,399	183,900	180,396	159,130	164,933

LPGガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	炊飯機バーナーの清掃の実施や生産機器の使用集約など進めておりましたが使用量前期比×評価となり削減の方法も難しくなっている。 炊飯設備の更新、番重洗浄機の更新など省エネ機への変換時期に来ている為、長期計画に併せ更新時期を検討し進めて参りたい。今期計画の給湯器の更新は来季に持ち越し2012年2016年製の給湯器の更新を来季計画する。 又、他社様の取組など参考に出来る情報を集め取組みの底上げを進めて参りたい。
・給湯器の省エネ機への更新 2個/年予定	×	
・使用生産機器の点検に依る効率低下防止	△	
・		



取組紹介欄

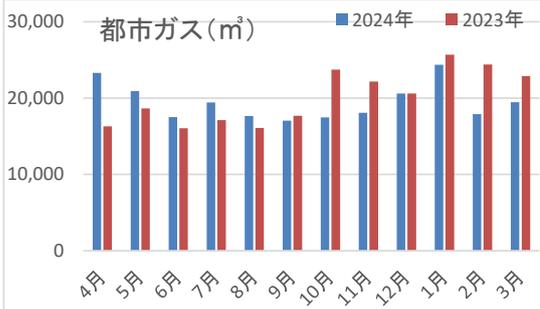
生産使用量の変化に合わせて使用機械の削減
1号機(64,000kcal/h)の使用を減らし2号機(12,000kcal/h)を主に使用



1号機 2号機

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年度	16,198	16,951	15,095	15,289	13,987	14,210	15,977	16,994	18,160	19,005	18,582	18,822
2024年度	17,916	18,233	16,141	16,293	15,667	14,881	15,665	18,900	21,125	22,022	19,554	20,233

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	トラップの交換は3ヶ所実施、5個の目標には届かなかった。 加熱室蒸気釜の排水コック、蒸気供給コックの交換を適時行い漏れを止める事で使用量の無駄が防止出来た。しかしながら今季前半の目標未達が大きく原単位評価では×評価となってしまった。細かな取組みの数量を増やし、無駄の削減に取り組み来季成果を上げて参りたい。
・トラップの交換 5個/年	△	
・番重洗浄機の洗浄水タンクの保温改修	×	
・洗浄水タンク部蒸気排熱利用	×	



取組紹介欄

メーカーサービスマンとの連携によるボイラー機器の不具合、効率
蒸気漏れの削減による無駄な運転時間の削減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	16,284	18,647	16,047	17,115	16,085	17,691	23,728	22,178	20,588	25,686	24,399	22,888
2024年	23,305	20,924	17,506	19,437	17,661	17,031	17,476	18,083	20,595	24,356	17,896	19,450

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	会社からの廃棄ゴミは減ってきている。今後分別の方法など更に検討し寄りリサイクル出来るゴミと廃棄するゴミとの仕分けを強化し排出量の削減を進めつつ、従業員の意識付けを強化し更に削減へ取り組んで参りたい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・コピー用紙の削減 両面・集約コピーの推奨	○	
・会議資料の電子化	△	

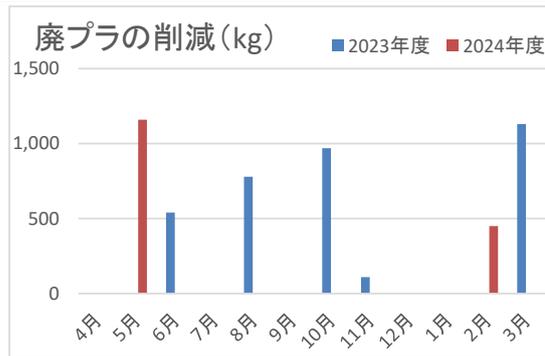


ゴミの種別によるゴミ箱の分け

紙ごみのリサイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	15,420	16,590	15,150	16,120	15,750	14,640	15,080	15,980	15,370	15,200	15,450	15,350
2024年	14,640	15,860	13,830	15,460	14,440	14,060	13,990	13,500	12,880	13,770	12,410	14,090

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	器具の間違った使用方法や乱暴な使用を従業員全員で注意する事で機器の破損が減り経費、ゴミの排出量も減らすことが出来る。購入機器、部品の管理や無駄な機器の購入を控え今期以上のゴミ排出量の削減を進めて行きたい。
・不要部品の整理、整頓	○	
・機器購入時の数量見直し	○	
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	△	



取組紹介欄



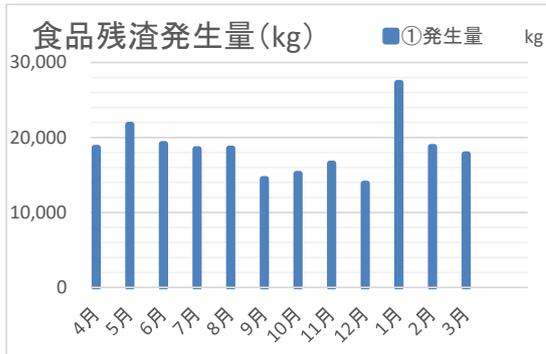
業者からの荷物の段ボール箱や緩衝材を返却し再利用する事でゴミを出さない仕組み作



鉄とプラゴミを分解し分別し鉄は買取りサイクル、プラゴミの体積を減らす

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年度	0	0	540	0	780	0	970	110	0	0	0	1,130
2024年度	0	1,160	0	0	0	0	0	0	0	0	450	0

食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	食品廃棄物の発生量は製造数量の減少と原材料削減、加工ロス削減の取組みにより昨年比92.3%と削減となったが自主目標と単位当たりの目標値は下回った。リサイクル外焼却残渣の量が減っていないことから来季減らす方法、分別方法を更に細かくする必要が有ると考えます。取組み方法や他の改善策をエコアクション委員から発信し、総排出量の削減とリサイクル率UPに転じて行きたい。
・原材料発注量の精度アップ	○	
・加工ロスの削減	△	
・在庫管理の強化による不良在庫削減	○	
・分別の徹底	×	
・再資源化先の開拓	△	



取組紹介欄

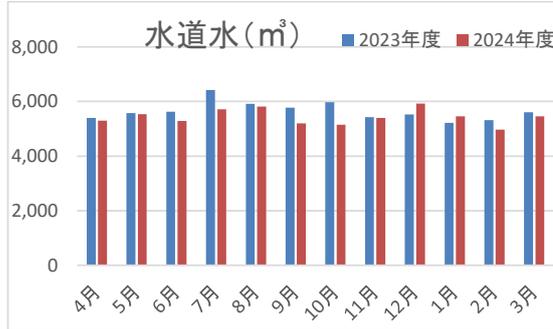


生産現場に廃棄食材置場を設け、分別の徹底と計量を行い日々の廃棄量が確認できるように仕組みを構築



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発生量 (kg)	18,640	21,720	19,150	18,450	18,540	14,470	15,160	16,560	13,870	27,300	18,770	17,790
再資源化率 (%)	90%	86%	90%	90%	88%	90%	88%	92%	91%	95%	92%	92%

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	注意喚起を行った後は削減の意識が高まり節水、使用量減となっているが時間が経つと無駄な消費が見られる。節水根の仕組みとハード面の改善を検討し無駄な使用を無くす様進めて参りたい。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	△	
・洗浄時の流しっぱなし注意 朝礼、巡回でのチェック週1回	△	
・ボールタップの故障確認	○	



取組紹介欄



シンクにピクトグラム表示 節水の呼びかけ



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年度	5,399	5,575	5,631	6,426	5,911	5,774	5,978	5,426	5,527	5,218	5,318	5,604
2024年度	5,296	5,533	5,290	5,717	5,812	5,201	5,154	5,398	5,924	5,457	4,969	5,460

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・リスクアセスメントの実施	○	使用していなかったデットストック薬品の管理が出来ていなかった。不要薬品の確認を行い整頓を進める又、SDSの最新版管理と表示場所の整合性を随時行い漏れが無いよう進めて参りたい。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・従業員教育	○	
・代替物質の検討(パワークリーナー⇒中性洗剤)	○	

取組紹介欄

薬品庫にリスクアセスメント表示



現場以外の薬品使用場所にSDSの表示



食堂シンク

トイレ手洗い



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（動植物性残渣、廃プラ、汚泥）
食品リサイクル法	食品廃棄物（定期報告義務）
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機、送風機
水質汚濁防止法	厨房設備、洗浄設備、油及び有害物質の流出
下水道法	除害施設、排水処理施設
大気汚染防止法	ボイラー設備（ばい煙発生管理ボイラーの為非該当）
省エネ法	エネルギー使用量の合理化と平準化
化学物質排出把握管理促進法	各使用薬品のSDS受取管理
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ
電波法	大型IH調理釜
労働安全衛生法	ボイラー設備、圧力容器

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

工場正面前の道路にて、通勤時間帯にウインカーを出さず構内に入る業者の車が毎朝通勤時に遭遇するので危険との連絡を頂く。資材課より各業者に連絡し注意するよう通達した。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	緊急事態の想定： 食用油の流出事故発生
■実施日： 2024年11月13日	■実施日： 2024年7月15日
■参加者： 社員、パートナー、実習生 計41名	■参加者： 設備保全課 4名
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	■実施内容： <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 漏洩油回収訓練
■評価： 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	■評価： 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025年5月6日

従業員全員参加の取り組みにより一般廃棄物及び食品ロス削減目標は達成できたが、大幅な売り上げの減少により、電力の固定的使用となる冷凍冷蔵保管庫・照明の消費電力やバッチ調理時の投入量減。又、生産量に関わらず一定時間の炊飯アイドリング運転や衛生管理強化によるサンテーション作業時の水道使用量の増加等により目標未達となった。

来年度は基準年比よりも今年度実績に基づいて目標を設定してください。

又、エコアクション21の取組は環境保全だけでなく、コスト削減に繋がる経営上も重要な取り組みです。

更に全従業員参加型を推進しハード面、ソフト面にこだわらず、全員参加でアイデアを出し合い、大きな成果となるよう推進してください。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

これまでの環境活動の紹介



冷蔵庫の扉が開いた際警報音を鳴らし開けっ放しの防止



吸排気ファンモーターをインバーターにて制御駆動電流の削減



機器の水道メーターを取付け使用量の日々のチェックと漏水の早期発見による水使用量の削減

□編集後記

エコアクション21の取組も3年となりますが、まだまだ一部の従業員で進めている状態であるため、体制、推進の強化を図りたいと考えています。その為に、今以上の情報収集と実施の推進を行っていきたいと思います。

燃料、電気料金、部材費等の高騰もあるため、設備投資は難しい時期に有りますが、全従業員参加型で計画生産の精度アップと エネルギーロス削減を、なお一層活動量を上げて改善に繋げて参りたいと思います。